

鉄道沿いの斜面崩壊を未然に防止し、交通機能を確保 (平成筑豊鉄道:福岡県田川市)

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

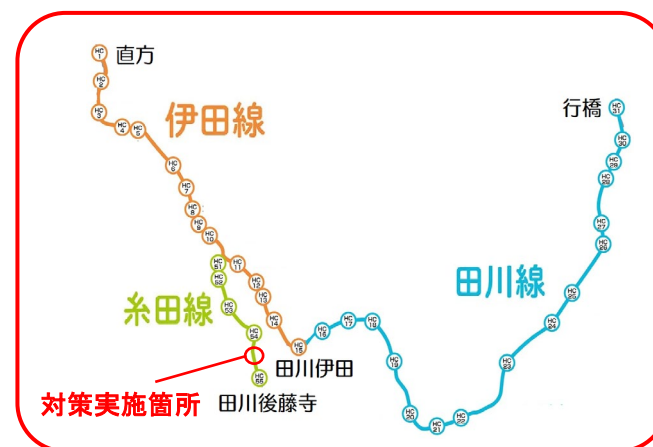
NATIONAL RESILIENCE

効果概要:平成筑豊鉄道糸田線において法面固定対策を実施することで、令和5年6月下旬から7月上旬にかけて九州北部地方で線状降水帯が発生した際、法面崩落による線路への土砂流入被害はなく、交通機能を維持できた。

府省庁名:国土交通省

- 実施主体:平成筑豊鉄道株式会社
- 対策の概要:法面防護設備の整備
(コンクリート吹付による法面固定)
- 事業費:1,000万円(令和3年度)
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)300万円)

※令和2年度3次補正予算を含む



対策未実施の田川線では大雨による被害が発生【令和5年6月30日~7月1日】(総雨量:301mm)



線路陥没



対策前
落石発生(令和2年3月)



対策後
コンクリート吹付による法面固定



糸田線の対策箇所では大雨による被害発生なし



切取崩壊